第 13 章

トラブルシューティング

第 13 章

13

トラブルシューティング

概要

この章では、ブラザー プリント サーバーの使用上発生する可能性のある問題と、その解決方法について説明します。 この章は次のセクションで構成されています。

1. インストールについての問題
2. 時折発生する問題
3. プロトコル固有の問題

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1. プリンタの電源がオンで、オンラインであり、印刷できるようになっていることを確認します。
   設定情報を印刷し、プリンタとその設定が正しいことを確認します。プリント サーバーの設定情報の印刷方法は、『クイックネットワークセットアップガイド』 をご参照ください。 設定情報が印刷されない場合は、次の項目をチェックします。
   a. プリンタのフロント パネルにあるアラーム LED が点灯または点滅し、背面パネルの UTP（イーサネット）コネクタの近くにある LED がすべて消灯しているか、オレンジ色の（F）LED が点滅している場合は、ネットワーク ファームウェアに異常のある可能性があります。
   b. この場合は、プリンタの背面パネルにある「TEST」スイッチを 5 秒間以上押し、プリント サーバーの工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてみます。 その後で、プリンタの電源を入れ直し、設定ページを印刷してみます。
2. 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. TCP/IP を使用している場合

ホスト オペレーティング システムから次のコマンドを実行し、プリント サーバーへのpingを行ってみます。

Ping ipaddress

ipaddressはプリント サーバーのIPアドレスです。 プリント サーバーにIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間かかることがあります。 応答が正しく返される場合は、UNIX、TCP/IP Windows NT/LAN Server (TCP/IP)、Windows98/95/Me ピアツーピア印刷（LPR）、インターネット印刷、またはウェブ ブラウザのトラブルシューティングのセクションに進みます。 応答が返らない場合は、手順3に進み、次にTCP/IPトラブルシューティングのセクションに進みます。

b. Novellシステムを使用している場合

ネットワーク上にプリント サーバーが存在しているかどうかをチェックします。 SUPERVISOR（スーパバイザ権限のあるユーザーではない）またはADMIN（Netware 4以降のサーバーの場合）としてログインし、PCONSOLEまたはNWADMINを実行し、[PRINT SERVER INFORMATION（プリント サーバー情報）] を選択し、プリント サーバの名称を選択します。 このプリント サーバー名が前に入力した名称であることを確認します。 [Print Server Status and Control（プリント サーバーのステータスと制御）] がメニューに表示されている場合は、ブラザー プリント サーバーがネットワークから認識されています。 Novel NetWareのインストールのトラブルシューティングのセクションに進みます。 それ以外の場合は手順3に進みます。

c. AppleTalkを使用している場合

[セレクタ] の [LaserWriter 8] アイコンの下にプリント サーバー名が表示されていることを確認します。 表示されている場合は正しく接続されています。 AppleTalk for Macintoshのセクションに進みます。 表示されていない場合は手順3に進みます。

3. 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目をチェックします。
   a. プリンタの電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。
   b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。 <Network Statics>セクションに<Bytes Transmitted>でデータがあるかどうかを調べます。
   c. LED の表示をチェックします。

   NC-3000/4000シリーズのプリント サーバーには3個のLEDがあります。 このLEDを使用して、問題の診断を行うことができます。

   - L- LED（緑色）－接続状態の表示
     このLEDは、ネットワークとの接続が有効である場合に点灯します（10BaseTまたは100BaseTX）。 ネットワークと接続されていない場合は消灯します。
   - F-LED（オレンジ色）－接続状態の表示
     このLEDは、プリント サーバーが100BaseTX Fast Ethernetネットワークと接続している場合に点灯します。 プリント サーバーが10BaseTネットワークと接続している場合には消灯します。
   - A- LED（緑色）－送受信状態の表示
     このLEDは送受信状態と同期して点滅します。

4. リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにしてください。 また、他のハブをお持ちか、またはリピータマルチポートの場合は、プリント サーバーを別のポートや他のハブまたはリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかをチェックします。
5. プリント サーバーとホスト コンピュータとの間にブリッジまたはルーターが存在する場合は、ホストからプリント サーバーへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。 例えば、ブリッジは特定の イーサネットアドレスのデータだけが通過できるように設定されていることがあり（フィルタリング）、そのような場合にはブラザー プリント サーバーのアドレスが含まれるように設定する必要があります。 また、ルーターは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあり、プリント サーバーで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認する必要があります。
6. 印刷ジョブがキューを出ているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンタに出力していないかどうかをチェックします。 自動言語切り換え機能のあるプリンタを使用している場合は、プリンタが強制的に PostScript モードに切り換えられていないかどうかをチェックします。

時折発生する問題

時々プリント サーバーとプリンタに問題が発生する場合は、次の項目をチェックします。

1. サイズの小さなジョブの印刷には問題がないのに、サイズの大きなグラフィック ジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの量や、最新のプリンタ ドライバがコンピュータにインストールされているかどうかをチェックします。 プリンタの最新ドライバは、http://solutions.brother.co.jpからダウンロードできます。
2. その他、時折発生する問題の原因は、この章の各プロトコルのトラブルシューティングのセクションをご参照ください。

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してプリント サーバーに正しく印刷出力を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順を実行することをお勧めします。

プリンタの電源を入れなおす。
セットアップ エラーの可能性を除去するため、オペレーティングシステム上のプリント サーバー設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成する。

1. IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生することがあります。プリント サーバーに IP アドレスが正しくロードされていることを確認します（設定ページを印刷）。 ネットワーク上のノードで、このアドレスが使用されていないことを確認します。 TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。
2. IP アドレスの入力に、TELNET、BRCONFIG、NCP、ccr を使用した場合は、<CTRL>+<D>キーを押すか EXIT コマンドを入力して正しくリモート コンソールを終了していること、およびプリンタの電源を入れ直したことを確認します。 IP アドレスのロードには設定後最大 2 分間程度かかることがあります。
3. TCP/IP プロトコルがプリント サーバーで使用されるように設定されていることを確認します。
4. rarp を使用した場合は、ワークステーションで、rarpd、rarpd-a、または等価のコマンドを使用して rarp デーモンを起動していることを確認します。 /etc/ethers ファイルに、正しい イーサネットアドレスが記述されていること、プリント サーバー名が/etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。
5. bootp を使用した場合は、ワークステーションで bootp デーモンを起動し、/etc/bootptab ファイルが正しく設定され（エントリから # が削除されているなど）、bootp が有効になっていることを確認します。
6. また、ホスト コンピュータとプリント サーバーが、どちらも同じサブネット上に存在すること、サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルーターが設定されていることを確認します。

UNIXのトラブルシューティング

1. /etc/printcap ファイルを使用する場合は、そのファイルが正しく記述されていることを確認します。 特にコロン（:）やバックスラッシュ（\）文字が脱落していないかどうかをチェックします。 このファイルでは小さなエラーが重大な結果を生じます。/usr/spool ディレクトリをチェックし、有効なスプール ディレクトリが作成されていることを確認します。
2. Linux オペレーティング システムを使用している場合は、Linux に含まれている X-Window 印刷ツール プログラムで、lpd 操作用の etc/printcap ファイルが正しく設定されていない場合があります。 その場合は、etc/printcap ファイルを編集し、次のプリンタのエントリ行を編集します。

   エントリが、次の場合
   :lp = /dev/null: ￥
   次のように変更します。
   :lp = :￥

3. Berkeley ベースの UNIX を使用している場合は、そのシステムで lpc start printer コマンドを使用してデーモンが起動されていることを確認します。 この printer はローカル プリンタ キューの名称です。
4. AT&T ベースの UNIX を使用している場合は、プリンタが有効になっていることを確認します。 コマンドは enable printer で、printer はローカル プリンタ キューの名称です。
5. ホスト コンピュータ上で、lpr/lpd リモート ライン プリンタ サービスが実行されていることを確認します。 このサービスの実行方法の詳細は、ホスト コンピュータのマニュアルをご参照ください。
6. 一度に複数のジョブを印刷する際に問題が発生する場合は、TELNET や BRConfig の SET IP TIMEOUT コマンド または BRAdmin Professional やウェブブラウザを使用して、IP タイムアウトの値を増やしてみてください。
7. テキスト ジョブとPCLジョブを同時に実行する場合は、サービス（リモート プリンタ）の EOT を文字列番号 2（<ESC>E）に設定してみてください。 例を次に示します。

   SET SERVICE BRN_xxxxxx_P1 EOT 2

8. PostScriptジョブの同時実行が正しく行われない場合は、サービス（リモート プリンタ）の EOT を文字列番号 3（<Ctrl>+<D>）に設定してみてください。 例を次に示します。

   SET SERVICE BRN_xxxxxx_P1 EOT 3

9. テキスト ファイルの行が不揃いになる場合は、/etc/printcap ファイルのリモート プリンタ（rp）名が TEXT に指定されているかどうかをチェックします。
10. Sun Solaris V2.4 以前には、プリント サーバーを使用して長い印刷ジョブを実行するとエラーが発生するバグがあります。 長い印刷ジョブ（1MB 以上）を実行するとエラーが発生する場合は、etc/printcap ファイルのエントリとして行 mx#0 を追加します。
11. DEC TCP/IP Service for VMS (UCX) から印刷を行うことができない場合は、使用しているバージョンが 2.0B 以降であるかどうかを調べます。 これ以前のバージョンでは、ブラザー プリント サーバーは正しく動作しません。

Windows NT/LAN Server (TCP/IP) のトラブルシューティング

Windows NT または LAN Server での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows NT システムまたは LAN Server ファイル サーバーに、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認します。
2. DHCP を使用するなどして、プリント サーバーの IP アドレスが確定していない場合は、[LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス:] ボックスに、プリント サーバーの NetBIOS 名を入力します。

Windows 95/98/Me ピアツーピア 印刷（LPR）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me でのピアツーピア（LPR）印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェア が正しくインストールされ、第 3 章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。

ブラザーピアツーピア（LPR）ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。

Windows 95/98/MeでのHP JetDirect Port 印刷のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me での HP JetDirect Port 印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Windows 95/98/Me にインストールされた　JetAdmin の下に、ブラザープリント サーバーが表示されない場合は、次の手順でソフトウェアを再インストールします。

   - まず[コントロールパネル]の[ネットワーク]から、IPX/SPX 互換プロトコル（または、JetAdmin の最近のバージョンを使用している場合は TCP/IP プロトコル）、Microsoft ネットワーク クライアント、およびネットワーク アダプタ カード ドライバをインストールします。
   - 最新の HP JetAdmin ソフトウェアをインストールします。
   - システムを再起動し ます。

Windows 95/98/Me/NT 4.0 ピアツーピア印刷（NetBIOS）のトラブルシューティング

Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 の ピアツーピア ネットワーク（NetBIOS）での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. ブラザーピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされているか、第 4 章 NetBIOS ピアツーピア印　の章の説明に従って正しく設定されていることを確認します。 ソフトウェアのインストールの際に、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。 Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000 コンピュータで、この現象が発生することがあります。 その場合は、<ALT>+<TAB>キーを押すと表示されます。
2. プリント サーバーが、ネットワーク内のコンピュータと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。 プリント サーバーが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

ブラザー インターネット印刷のトラブルシューティング

1. 送信側のコンピュータから受信側のプリント サーバーに電子メールを送信できるかどうかを確認してください。 プリントサーバーと同じリモート サイトのユーザーに、送信側コンピュータ から電子メールを送信してみます。 これが正しく実行できなければ、送信側コンピュータ 、送信側の電子メール サーバー、または受信側のリモート POP3 サーバーの電子メール設定に問題があります。送信側コンピュータとリモート プリント サーバーの電子メール パラメータが、電子メール サーバーに設定されているパラメータと一致しているかどうかを再チェックします。

   小さなファイルの印刷には問題がなく大きなファイルの印刷に問題がある場合は、おそらく電子メール システムに原因があります。 電子メール システムによっては、大きなファイルの印刷時に問題の発生するものがあります。 ファイルが宛先に届かない場合も、電子メール システムに原因があると考えられます。このような場合には、送信側コンピュータで分割メール機能を使用することができます。この機能を使用すると、電子メールが細かく分割して処理されるため、ほとんどの電子メール サーバーで処理することができます。 この機能の設定は、ブラザー インターネット印刷の [ポートの設定] 画面で行います。

Windows 95/98/Me/2000のIPPのトラブルシューティング

IPP プロトコルが使用できない
IPP プロトコルが使用できるのは、8MB 以上のメモリが必要です。プリンタに搭載されているメモリが 8MB 未満の場合は、自動的に IPP プロトコルが無効になります。 プリンタに搭載されているメモリが 8MB 未満の場合は、機種により SIMM または DIMM を使用してメモリを増設すれば、自動的に IPP プロトコルが有効になります。

ポート番号を 631 以外の番号に変更する
IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。 このような場合には、ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows 2000 システムでの設定時に、次のデータを入力します。

http://ip_address/ipp

Windows 2000 での［詳細］オプションが使用できない
http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows 2000 での [詳細] オプションは使用できません。 [詳細] オプションを使用するには、次の URL を使用してください。

http://ip_address:631 or http://ip_address:631/ipp, the “Get More Info” option in Windows 2000 will not function. If you wish to use the “Get More Info” option use the following URL:

http://ip_address

これで、Windows 2000 とブラザー プリント サーバーとの通信にポート 80 が使用できます。

Windows 95/98/Me クライアントが Windows 2000 システムからドライバを取得できない
クライアント コンピュータで、バージョン 4.0 以降の Internet Explorer を使用し、Microsoft インターネット印刷サービス ソフトウェアがインストールされているかどうかをチェックします。

Novell NetWareのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題がないにも関わらず、NetWare から印刷を行うことができない場合は、ブラザー プリント サーバーがサーバー キューに接続されているかどうかを確認します。 PCONSOLE を実行し、[PRINT QUEUE INFORMATION（印刷キュー情報）] を選択して、[CURRENTLY ATTACHED SERVERS（現在接続しているサーバー）] を選択します。 プリント サーバーが接続先サーバーのリストに表示されていない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーの可能性を除去するため、まず、次の手順の実行をお勧めします。

- プリンタの電源を入れ直すことで、強制的に Netware キューのスキャンを実行する。
- セットアップ エラーの可能性を除去するため、プリント サーバーを削除して再作成し、新しい印刷キューを作成する。

1. ログイン パスワードを変更した場合は、ブラザー プリント サーバーとファイル サーバーの両方のパスワードを変更する必要があります。 プリント サーバのパスワードは、BRConfig ソフトウェアの SET NETWARE PASSWORD コマンドを使用するか、ウェブ ブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して変更します。 ファイル サーバーのパスワードは、PCONSOLE のプリント サーバー情報パスワード変更コマンドを使用して変更します。
2. 印刷キューの作成に BRAdmin Professional ではなく PCONSOLE を使用した場合は、少なくとも 1 つのファイル サーバーを SET NETWARE SERVER servername ENABLED コマンドを使用して有効にしたかどうかを確認します。
3. NetWare のユーザー制限を超えていないかどうかをチェックします。
4. PCONSOLE で使用したプリント サーバー名が、プリント サーバーに設定されている名称と完全に一致しているかどうか、また、印刷キューのキュー サーバーとして定義されているかどうかを確認します。
5. ネットワーク上の別々のサーバーで、802.3 と Ethernet II フレームの両方を実行している場合は、プリント サーバーと目的のサーバーが接続できないことがあります。 プリント サーバーのリモート コンソールから SET NETWARE FRAME コマンドを使用するか BRAdmin Professional を使用して、フレームの種類を強制的に 1 つにしてください。
6. DOS CAPTURE ステートメントを使用しているときに、印刷ジョブの一部が失われる場合は、CAPTURE ステートメントの TIMEOUT パラメータの値を大きくしてみてください（Windows の場合は 50 秒以上）。

AppleTalkのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題がないにも関わらず、Macintosh コンピュータの AppleTalk から印刷を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

1. Phase 2 AppleTalk が実行されていて、Macintosh の [ネットワーク コントロール パネル] でネットワーク インターフェイスが正しく選択されていることを確認します。

2. AppleTalk プロトコルがプリント サーバーで使用されるように設定されていることを確認します。

3. 大規模ネットワークの場合は、Laser Writer V8.xx または等価のドライバがインストールされていることを確認します。 以前のバージョンでは PostScript エラーの原因となることがあります。 [セレクタ] の [設定] ボタンで [プリンタ情報] を選択したときに、プリンタ情報が正しく表示されるかどうかを確認します。

4. [セレクタ] で Printer Description File（PPD）が正しく選択されていることを確認します。 PPD が正しくないと PostScript エラーの原因となります。

5. AppleTalk ゾーンが正しく選択されているかどうかをチェックします。プリント サーバーはルーターのブロードキャストからゾーン情報を取得するため、その情報が目的のゾーンでない場合があります。 その場合は、プリント サーバーが [セレクタ] に表示されません。 このような場合には、BRAdmin Professional、ウェブ ブラウザ、または TELNET.BRAdmin の SET APPLETALK ZONE コマンドを使用して、ゾーン名を強制的に割り当てる必要があります。

6. プリント サーバーへの印刷に必要な Laser Prep バージョンが、すべての Macintosh コンピュータで同一であることを確認します。

DLC/LLCのトラブルシューティング

DLC/LLC での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. BRAdmin Professional、ウェブ ブラウザ、または TELNET を使用して、DLC/LLC プロトコルが有効になっていることを確認します。
2. インサツソフトウェアに設定してある　MAC アドレスが、印刷設定ページのものと一致していることを確認します。

LATのトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェック（前述）に問題が無いにも関わらず、VMS システムから印刷を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。 セットアップ エラーの可能性を除去するため、別の LAT ポートを使用して新しい印刷キューを作成してみることをお勧めします。

1. 印刷時にキューが停止する場合は、プリント サーバーのノード名が、/etc/printcap ファイル（ts パラメータ）および lcp -s コマンドの、LATCP または ULTRIX の印刷キュー内の VMS 印刷キューとして定義されているポート名（またはサービス名）と一致しているかどうかを確認します。 印刷を行うには、この名称が完全に一致している必要があります。

2. 出接続で LAT が有効になっていることを確認します。 VMS の場合は、Latcp> プロンプトで LATCP を入力し SHOW NODE とタイプします。 「Outgoing Connections Enabled（出接続有効）」と表示されなければなりません。 このメッセージが表示されない場合は、コマンド SET NODE/CONNECTIONS=BOTH を入力します。 ULTRIX を使用している場合は、lcp -s コマンドで LAT を起動し lcp -h コマンドでホスト発の接続を有効にしていることを確認します。

3. LAT ノード名または LAT ポート番号が重複していないかどうかをチェックします。 ノード名の変更または別の LAT ポートの作成により問題が解決しないかどうかを調べます。 複数の印刷キューで同じ LAT ポートを使用していないかどうかをチェックします。

4. ULTRIX を使用している場合は、/etc/printcap ファイルの記述に誤りがないかどうかを確認します。 特に、コロン（:）やバックスラッシュ（\）文字が脱落していないかどうかをチェックします。 このファイルでは、小さなエラーが重大な結果を生じます。 /usr/spool ディレクトリをチェックし、有効なスプール ディレクトリが作成されていることを確認します。

5. ULTRIX を使用している場合は、tty デバイスについて、次の項目をチェックします。

   - tty が有効な LAT tty であることを確認します。 コマンド file /dev/tty* | grep LAT を実行し、このデバイスの説明に 39 の記述が存在するかどうかを確認します。

     The device is in the /etc/ttys file and in the
     /dev directory.

   - 設定手順を通して同じ tty 番号を使用したかどうかをチェックします。

6. VMS LAT ポートがスプール デバイスとして設定されていないと、時折キューが停止する場合があります。 VMS コンソールから SHOW DEVICE LTAxxx と入力します。 デバイスがスプールされていない場合は、SET DEVICE/SPOOL LTAxxx コマンドを入力します。（例外ーLTA デバイスをスプール デバイスに設定した状態で、PATHWORKS for MACINTOSH キューの設定を行わないでください）。

7. 次のいずれかの症状が現れる場合は、VMS 印刷キューの PROCESSOR=LATSYM を有効に設定します。

   - プリント サーバーの電源を切ると、理由も無くキューが停止する。

   - プリント サーバーがネットワーク上に過度の LAT トラフィックを発生する。

   - プリント サーバーにアクセスできるのは 1 台のホスト コンピュータだけで、他はロックされてしまう。

8. VMS LAT シンビオントの動作が突然停止し、1 つ以上のキューがシャットダウンする場合は、LAT シンビオントでの負荷の処理が不能になった結果生じた問題である可能性があります。 この症状は、大きなグラフィック ファイルの印刷時に発生することがあります。 複数のプロセッサを作成（LATSYM.EXE ファイルをコピー）し、これらのプロセッサ間で負荷を分散するようにします。

9. VMS でのグラフィックスの印刷出力が正しく行われない場合は、LTA ポートが、PASSALL、PASTHRU、TAB 用に設定されているかどうかを確認します。

10. VMS での PostScript ファイルの印刷に問題がある（PostScript エラーまたは印刷されない）場合は、フォームに NOTRUNCATE および NOWRAP が設定されているかどうかを確認します。 また、フラグ ページを印刷しようとしていないかどうかを確認します（DCPS を使用しているのではない場合）。 LAT シンビオントのフラグ ページは非 PostScript テキスト ファイルです。

11. DECprint Supervisor や Windows ベースの PATHWORKS コンピュータなどからの PostScript ファイルの印刷に問題がある場合は、SET PORT P1 BINARY DISABLED コマンドを使用して、プリンタのバイナリ モードを無効にしてみてください。

12. ワイド エリア ネットワーク ブリッジ越えの印刷で（Vitalink など）、キューの停止や動作に問題が発生する場合は、SET SERVER TRANSMIT 120 コマンドを使用して、プリント サーバーのサーキット タイマを 120 ミリ秒に増やしてください。

13. DOS を使用して PATHWORKS から印刷できるにも関わらず、Windows からの印刷に問題がある場合は、Windows 印刷マネージャを使用し（[プリンタ設定] を選択して目的のプリンタを選択し、[接続] ボタンを押す）、Device Not Selected（デバイス未選択）と Transmission Retry（送信再試行）タイムアウトを増やしてみてください。

Banyan VINESのトラブルシューティング

Banyan VINES での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. Banyan VINES PCPrint ソフトウェア オプションがインストールされていることを確認します。

2. Banyan プロトコルが有効に設定されていることを確認します。

3. プリント サーバーとファイル サーバー間のホップ数が 2 以上（2 台以上のルーターが存在するなど）の場合は、BRAdmin またはウェブブラウザ、TELNET などを使用して、ホップ数を適当な値に変更していることを確認します。

4. VINES MUSER または MANAGE ユーティリティを使用し、プリントサーバーがログインしていることを確認します。 プリント サーバーがログインしていない場合は、プリント サーバーに設定されているStreetTalk ログイン名が、VINES MUSER または MANAGE ユーティリティを使用してファイル サーバーに設定したログイン名と完全に一致しているかどうかを調べます。

5. プリント サーバー サービス名に関連付けられている StreetTalk ログイン名が、MSERVICE または MANAGE ユーティリティを使用してファイル サーバーに設定した印刷キュー名と完全に一致しているかどうかを調べます。

6. Banyan ファイル サーバーのユーザー制限を超えていないかどうか（プリント サーバーはユーザーとしてログインする必要があるため）、キューの印刷が有効に設定されているかどうか、ファイル サーバーへのプリント サーバーのログインを妨げているセキュリティ制限が存在していないかどうかを確認します。

ウェブ ブラウザのトラブルシューティング

1. ウェブ ブラウザを使用してプリント サーバーに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定をチェックしてください。 プロキシを使用しない設定をチェックし、必要ならプリント サーバの IP アドレスを入力します。 これで、プリント サーバの接続時に、毎回、コンピュータが ISP やプロキシ サーバーへの接続を試行することはなくなります。

2. 使用しているブラウザが適当かどうかをチェックします。 Netscape Navigator バージョン 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 4.0 以降の使用をお勧めします。